

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クレオ

コード番号 9698 URL <http://www.creo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 森太郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長 (氏名) 雨田 高志

TEL 03-5769-3640

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,264	13.2	246	31.5	249	29.7	189	△7.5
24年3月期第2四半期	4,650	5.9	187	—	192	—	204	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 191百万円 (△6.7%) 24年3月期第2四半期 205百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	21.39	—
24年3月期第2四半期	23.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,833	4,469	65.0
24年3月期	6,512	4,325	66.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,439百万円 24年3月期 4,301百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	10,000	1.5	400	9.2	350	△13.4
	～10,500	～6.5	～500	～36.6	～400	～△1.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	9,237,319 株	24年3月期	9,237,319 株
25年3月期2Q	409,144 株	24年3月期	377,462 株
25年3月期2Q	8,855,364 株	24年3月期2Q	8,863,018 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年11月14日(水)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料の概要については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当面弱めの動きが続くと思われる先行きの中、復興需要や海外経済状況の改善が期待される中、欧州や中国等対外経済環境を巡る不確実性は高く、世界景気の更なる下振れなどのリスクがあり、厳しい状況が続きました。

当業界におきましても、顧客の情報化投資の縮小、延期等、設備投資を抑制する動きに下げ止まりは見えるものの、受注環境の大幅な改善は厳しい状況下にあります。

このような状況の中、当社グループは平成23年4月1日付の当社持株会社化および会社分割により、事業ごとの責任と権限の明確化、スピード経営・自主独立経営の徹底、各業種・業態に最適な経営体制の確立、変化に対応出来る柔軟な経営体制の確立を実現し、より強固な経営基盤の確立並びに成長促進を目指しております。

以上の結果、売上高は、52億64百万円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益は、2億46百万円（前年同四半期比31.5%増）、経常利益は、2億49百万円（前年同四半期比29.7%増）、四半期純利益は、1億89百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

- ・クレオマーケティング事業（主たる事業：基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供）

「人事給与」「会計」「人材開発」「就業管理」製品を中心に事業を展開し、売上は増加しましたが、不採算プロジェクトの発生により、前年同四半期より利益は大幅な減少となりました。

その結果、売上高は11億55百万円（前年同四半期比9.8%増）、営業利益7百万円（前年同四半期比88.0%減）となりました。

- ・クレオソリューション事業（主たる事業：システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発）

厳しい市況環境の中、引き続き既存顧客との関係強化ならびトラブルプロジェクト防止を徹底した結果、前年同四半期より売上・利益ともに微増となりました。

その結果、売上高は15億99百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益65百万円（前年同四半期0.9%増）となりました。

- ・筆まめ事業（主たる事業：はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとしたソフトウェア製品の企画・開発・販売）

平成24年9月に発売した毛筆ソフト「筆まめVer. 23」を中心に出荷をいたしました。景気低迷による買い控えの影響が続き、売上・利益ともに前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は5億99百万円（前年同四半期比10.8%減）、営業利益1億4百万円（前年同四半期比15.2%減）となりました。

- ・クレオネットワークス事業（主たる事業：ICT基盤サービスプラットフォームとWebToPrintプラットフォームの提供）

平成23年8月に発表したビジネス基盤サービス「SmartStage」、平成24年5月に発表したネット印刷事業向けクラウド型ASP「W2Pクラウド」などの展開が堅調に進み、売上・利益共に前年同四半期を上回りました。

その結果、売上高は2億95百万円（前年同四半期比36.6%増）、営業利益26百万円（前年同四半期は営業損失56百万円）となりました。

- ・クリエイトラボ事業（主たる事業：ヘルプデスクを中心としたサポート&サービス）

厳しい市況環境に適応するべく、企業規模拡大、新規顧客開拓、技術社員増員を達成する為に平成24年4月に株式会社アイティアイを子会社化、ならびに商談数増加と受注確度向上に努めた結果、前年同四半期に比べ売上・利益ともに大幅に増加いたしました。

その結果、売上高は16億13百万円（前年同四半期比37.8%増）、営業利益71百万円（前年同四半期比74.6%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、83百万円の増加となりました。

これは主として受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億36百万円の増加となりました。

これは主として無形固定資産の増加によるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億75百万円の増加となりました。

これは主として買掛金の増加によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億43百万円の増加となりました。

これは主として四半期純利益の計上によるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当社グループの資金状況は、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高が27億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億49百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は3億92百万円の支出（前年同四半期は2億90百万円の収入）となりました。主な要因は、売上債権の増加によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は4億1百万円の支出（前年同四半期は2億13百万円の支出）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出の増加によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は55百万円の支出（前年同四半期は5百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、平成24年5月11日付け「平成24年3月期決算短信」において公表いたしました数値より変更はございません。

連結業績予想には、リスクや不確実性を含んでおり、そのための様々な要因の変更により、大きく異なる結果になる可能性があります。通期の連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

(1) クレオマーケティング事業については、新規顧客の獲得の遅れが生じた場合、あるいは通期の連結会計期間に予定しているライセンス販売等の検収が来期にずれ込む場合には、予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

(2) クレオソリューション事業については、事業の性質上通期の連結会計期間末に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が来期にずれ込む可能性があります。また、今後の開発状況によっては不採算プロジェクトが顕在化する可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社の連結子会社である株式会社クリエイトラボは、平成24年4月に株式会社アイティアイの株式を取得し、連結子会社としております。詳細につきましては、平成24年2月20日に公表いたしました「株式会社アイティアイ社の孫会社化に関するお知らせ」をご参照ください。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,566	2,717
受取手形及び売掛金	1,734	2,441
商品及び製品	35	58
仕掛品	253	360
その他	181	274
貸倒引当金	△2	—
流動資産合計	5,769	5,852
固定資産		
有形固定資産	199	190
無形固定資産		
のれん	—	7
その他	331	573
無形固定資産合計	331	580
投資その他の資産	212	209
固定資産合計	743	980
資産合計	6,512	6,833
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	336	578
短期借入金	5	0
未払法人税等	135	61
賞与引当金	500	385
役員賞与引当金	20	—
返品調整引当金	69	193
その他	1,015	1,039
流動負債合計	2,084	2,259
固定負債		
退職給付引当金	1	—
未払役員退職慰労金	33	28
資産除去債務	51	52
その他	16	23
固定負債合計	102	103
負債合計	2,187	2,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,149	3,149
資本剰余金	743	743
利益剰余金	531	676
自己株式	△123	△130
株主資本合計	4,300	4,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益累計額合計	0	△0
少数株主持分	24	30
純資産合計	4,325	4,469
負債純資産合計	6,512	6,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	4,650	5,264
売上原価	3,417	3,961
売上総利益	1,233	1,302
販売費及び一般管理費	1,045	1,056
営業利益	187	246
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	3	1
その他	4	2
営業外収益合計	8	4
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	2	1
営業外費用合計	3	1
経常利益	192	249
特別利益		
移転補償金	150	—
その他	9	—
特別利益合計	159	—
特別損失		
ソフトウェア臨時償却費	40	—
その他	12	—
特別損失合計	53	—
税金等調整前四半期純利益	298	249
法人税、住民税及び事業税	98	54
法人税等調整額	△5	2
法人税等合計	93	57
少数株主損益調整前四半期純利益	205	191
少数株主利益	0	1
四半期純利益	204	189



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	205	191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	205	191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204	189
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	298	249
減価償却費	152	143
ソフトウェア臨時償却費	40	—
のれん償却額	24	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	169	△115
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	△20
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	83	124
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	0	0
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△164	△707
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△123	△129
仕入債務の増減額 (△は減少)	37	241
未払金の増減額 (△は減少)	△131	88
その他	△67	△143
小計	312	△271
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△21	△121
営業活動によるキャッシュ・フロー	290	△392
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△89	△10
有形固定資産の除却による支出	△60	—
無形固定資産の取得による支出	△147	△392
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
定期預金の預入による支出	△10	—
定期預金の払戻による収入	10	—
差入保証金の差入による支出	△61	—
差入保証金の回収による収入	144	3
保険積立金の解約による収入	0	—
その他	—	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213	△401

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20	—
短期借入金の返済による支出	△20	—
長期借入れによる収入	—	9
長期借入金の返済による支出	△4	△14
自己株式の取得による支出	△0	△6
配当金の支払額	—	△43
リース債務の返済による支出	△2	—
少数株主からの払込みによる収入	2	—
少数株主への配当金の支払額	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5	△55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71	△849
現金及び現金同等物の期首残高	2,485	3,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,557	2,717

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,052	1,538	672	216	1,170	4,650
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81	7	0	83	250	421
計	1,133	1,545	672	299	1,421	5,072
セグメント利益又は損失(△)	60	65	123	△56	40	232

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	232
セグメント間取引消去	△50
全社費用及び利益(注)	4
四半期連結損益計算書の営業利益	187

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料収入等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,155	1,599	599	295	1,613	5,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67	12	0	95	267	443
計	1,223	1,611	599	391	1,881	5,707
セグメント利益	7	65	104	26	71	275

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	275
セグメント間取引消去	△71
全社費用及び利益(注)	41
四半期連結損益計算書の営業利益	246

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料収入等であります。